



## 民課 市生活

### 講演や神楽で安全意識を高める 高齢者交通安全・犯罪被害防止大会

市と庄原地区交通安全協会は4月26日、庄原市民会館で「高齢者交通安全・犯罪被害防止大会」を開催し、老人クラブ連合会の会員をはじめ、防犯組合員や一般来場者など約1000人が参加しました。

県警本部の棟杉孝犯罪情報官と庄原警察署の齊藤正晴署長が講演し、振り込み詐欺被害に遭わないためのポイントや、交通事故に遭わないための服装などについて、注意を呼び



明るい目立つ服装の大切さを学ぶ実験

かけました。また、ステージの照明を落とし、「暗い服装」「明るい服装」「反射材を使った服装」の見え方について実験が行われ、明るい服装に反射材を組み合わせるとよく目立つことを確認しました。

その他、安芸高田市の羽佐竹神楽団による交通安全や犯罪被害防止を交えた神楽の上演も行われ、参加者は被害防止に意識を高めました。

## 健 医療課

### 食育で元気なまちづくり 庄原市食育推進計画を策定

市民一人一人が健やかで心豊かな生活を送ることができるまちにしようと、庄原市食育推進計画を策定しました。

この計画は、市民3000人を対象にアンケートを実施し、市民検討組織として「食育計画策定推進委員会」を設置するなど、市民と行政の協働作業によりまとめたものです。

基本目標を①食育の理解促進と望ましい食習慣の習得、②食育体験と地産地消の実践、③人材・団体の育成と関係店舗の普及と定め、地産地消

## 民課性課 市生活児童

### 9割以上が申請、支給が進む 定額給付金・子育て応援特別手当

住民の生活支援と地域の経済活性化を目指した国の定額給付金の支給を4月30日から始めました。

市では、3月27日に申請受給者(世帯主)あてに定額給付金の申請書等を発送。5月11日までに93%の申請書を受け付け、順次、銀行口座への振り込みを行っています。

また、多子世帯の子育てを支援する子育て応援特別手当も対象者の9割以上が申請し、受付順に6月1日

から口座振込で支給しています。申請書の提出期限は定額給付金が9月28日、子育て応援特別手当が10月15日です。まだ提出されていない方は、お早めに提出してください。



申請書の受け付け作業をする職員



各世帯に配布した計画の概要版

## 工 観光課

### 15%の魅力に行列、経済活性化へ 庄原市プレミアム付商品券発売

庄原市プレミアム付商品券が5月11日、各指定販売所で一斉に発売されました。

これは、消費の拡大を促進し、地域商業の活性化を図るため、庄原市緊急経済・生活支援対策事業として行ったもの。市が庄原商工会議所、備北商工会、東城町商工会へ補助を行い、商工会ごとに商品券を発行しました。発行総額は2億8750万円。商品券は15%のプレミアムが付き、1セット1万円、それぞれの加盟店で11500円分の買い物ができます。販売窓口の「ジョイフル」では、10時の発売前に、商品券を買い求める市民約400人が列をつくる人気ぶり。8時過ぎから並んだという女性は「15%は魅力。日用品や孫の服などを購入したい」と話し、購入限度の3セット分を買い求めました。

また、取り扱い加盟店では、商品券を使用した際に特典を付けるなど、商品券に関するサービスを提供して行いました。



ジョイフルに設けられた販売所



商品券を求め行列

## 健 医療課

### 感染拡大に備え、対策を協議 新型インフルエンザ対策本部設置

新型インフルエンザの感染が世界的に拡大するなか、市は5月1日、滝口季彦市長を本部長とする「新型インフルエンザ対策本部」を設置しました。

この対策本部は、国内で発生した場合、あるいは発生が疑われる場合に設置することとしており、庄原赤十字病院、庄原市医師会、庄原警察署、備北地区消防組合、県北部保健所、庄原市の6機関で構成しています。

会議では、新型インフルエンザの感染が疑われる方を最初に診察する発熱外来を庄原赤十字病院と庄原市保健センターに設けることなどの対応を協議。その後、市は相談窓口の設置や、市民への広報などを行いました。また、国内でも感染者が拡大してきた5月19日には、庁内連絡会議を開催し、学校の対応やイベントの開催などについて協議を行いました。



関係機関が集まった対策本部会議

### 新型インフルエンザの電話相談窓口

発熱や咳など心配な症状や気になることがあるときは、病院に相談する前に広島県北部保健所に電話で相談してください。

広島県北部保健所 保健課保健対策係 ☎0824-63-5181(代)  
庄原市役所 保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1111(代)